

研究分野	資源管理	部名	資源管理部
研究課題名	資源回復計画作成推進事業 日本海		
予算区分	漁業調整費 (国1/2)		
試験研究実施年度・研究期間	H.14 ~ H.18		
担当	伊藤 欣吾		
協力・分担関係	水産振興課、水産庁、(独)日本海区水産研究所、水産庁新潟漁業調整事務所		

〈目的〉

我が国周辺水域において緊急に資源の回復が必要な魚種について、全国または地域レベルで資源回復のための計画を策定することとし、そのための取組みについて総合的に支援する。

〈試験研究方法〉

資源回復計画の作成に必要な資料を作成するとともに会議に出席した。

〈結果の概要・要約〉

会議等の概要は下表のとおりであった。

〈主要成果の具体的なデータ〉

年月日	場所	会議名	出席者	概要
平成15年3月11日	鯨ヶ沢町	日本海地区漁業者協議会	(主催：県漁連) (参集：組合長)	定置網で再放流を確認。大きさは後日協議する。刺網で許可以外の刺網も対象とすべきとの意見があり、再度検討する事とした。
平成15年3月25日	青森市	青森県漁業者協議会	(主催：県漁連) (参集：組合長)	資源回復計画進捗状況及び地区の漁業者協議会の概要について報告した。
平成15年4月25日	東京都	日本海北部資源回復計画担当者会議	(主催：水産庁) (参集：県)	削減措置の検討状況、資源回復計画案について協議した。
平成15年8月4日	鯨ヶ沢町	日本海地区漁業者協議会	(主催：県漁連) (参集：組合長)	広域漁業調整委員会の報告及び資源回復計画の実施計画について協議した。
平成15年9月2日	鯨ヶ沢町	日本海地区沖底漁業者協議会	(主催：日本海機船底びき網漁業者会) (参集：沖底漁業者)	具体的努力量削減措置等を協議した。
平成15年9月20日	鯨ヶ沢町	日本海地区沖底漁業者協議会	(主催：日本海機船底びき網漁業者会) (参集：沖底漁業者)	具体的努力量削減措置等を協議した。
平成15年12月16日	青森市	陸奥湾地区漁業者協議会	(主催：県漁連) (参集：組合長)	広域漁業調整委員会の報告及び資源回復計画対象魚種について協議した。
平成16年1月28日	青森市	佐井・脇野沢・蟹田・平館4単協協議会	(主催：県漁連) (参集：組合長)	資源回復計画対象魚種としてマダラの対応を協議した。
平成16年2月25日	東京都	日本海北部資源回復計画担当者会議	(主催：水産庁) (参集：県)	平成16年度マガレイ資源調査の検討、資源回復計画に係る進捗状況、追加候補魚種の検討、広域漁業調整委員会に向けた検討を行った。
平成16年3月8日	青森市	陸奥湾地区漁業者協議会	(主催：県漁連) (参集：組合長)	資源回復計画対象魚種としてマダラを承認した。
平成16年3月11日	鯨ヶ沢町	日本海地区漁業者協議会	(主催：県漁連) (参集：組合長)	資源回復計画対象魚種として陸奥湾産マダラを承認した。

〈今後の問題点〉なし

〈次年度の具体的計画〉今年度同様

〈結果の発表・活用状況等〉なし